

平成29年度包括外部監査結果に対する措置状況（市長事務部局）

監査テーマ:①出資団体の財務事務の執行及び経営管理について

②八戸市立図書館及び八戸市博物館にかかる財務事務の執行について

令和3年10月末現在

指摘区分		報告書 ページ	所管課名	対象団体等	指摘事項名	指摘概要	措置の実施状況	措置 状況
結果	意見							
	3	31	保健総務課	公益財団法人八戸市総合健診センター	特定資産の勘定科目について	貸借対照表及び財産目録に計上されている建物減価償却引当資産は、新健診センターを建設するための設備投資額と考えられる。詳細設計完了後、資金計画を作成し、保有目的が明確となる科目名称への変更が望ましい。	令和元年度の実施設計を踏まえ、必要な資金の額を確定後、資金計画を作成した。 なお、科目名称変更については、新健診センター完成（令和3年10月）に伴う建築費支払いにより、当該科目の使用が終了となるため、名称変更は行わないこととする。	措置済
	4	32	保健総務課	公益財団法人八戸市総合健診センター	財産目録の使用目的等について	財産目録の建物減価償却引当資産の使用目的欄の記載内容が実際の使用目的を正確に表していないように見える。詳細設計完了後に速やかに資金計画を作成し、現状を正確に表した使用目的にすることが望ましい。	令和元年度の実施設計を踏まえ、必要な資金の額を確定後、資金計画を作成した。 なお、使用目的については、令和2年度決算書から「現在使用している建物の建て替えのための資金」を「新築移転のための資金」へ記載内容を変更し、理事会及び評議員会において承認を受けた。	措置済
	13	54	こども家庭相談室（福祉政策課）	社会福祉法人八戸市社会福祉事業団	市の小菊荘への対応について	小菊荘の単年度収支は平成27年度から赤字となっている。また、施設の老朽化が進んでおり、今後維持管理に関するコストはさらに増加していく可能性がある。赤字が継続すると老朽化によるサービスの低下にも拍車がかかることも考えられる。 小菊荘は、措置型施設であり、その仕組みから、現在の赤字は八戸市等による措置委託の減少によって発生しているものである。この赤字を社会福祉事業団のみが負担していることが適切な状態なのか、市は十分に検討し、今後の方向性を明確にする必要がある。	子育て世代包括支援センター等の関係部署と連携し、課題を抱える母子を早期に把握するとともに、支援が必要と判断される場合は速やかな入所につなげることで入所者の増加につながっており、令和元年度及び2年度は赤字が解消されている。 今後も、関係部署と連携し、入所を必要とする対象者への支援を継続するとともに、入所者数や収支の状況を踏まえ、国の補助制度も活用しながら、必要な支援策を検討していくこととする。	措置済
	23	88	観光課	一般財団法人八戸地域地場産業振興センター（現：一般財団法人VISITはちのへ）	中長期的な経営計画について	施設設置の当初目的を念頭に社会経済情勢の変化に対応すべく施設等の修繕・維持更新、人材育成等、運営上の検討課題は多いと考えられるため、5年から10年を視野に入れた中長期的な経営計画を策定する必要がある。	令和2年度から令和6年度までの5か年を計画期間とする「VISITはちのへ中期事業計画」を策定した。	措置済